

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども～
 ○ 自ら学ぶ子ども
 ○ 心豊かな子ども
 ○ たくましい子ども

玉っ子

NO22 R6.1.12

文責 校長 佐藤則之

年始めに発生した能登半島地震の報道が連日なされています。昔から地震は「地震雷火事親父」と言われるくらい怖いものの代表として挙げられていました。13年前の東日本大震災の様子と重ね合わせて観ていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。多くの方が被災されており、一日も早い安否不明の方の確認と復旧等を祈らざるを得ません。

玉井小学校では、予定どおり3学期が始まりました。冬休み期間中、大きな事故等がなく子どもたちが学校に戻ってきて学校生活が再開しました。当たり前のことかもしれませんが、この当たり前のことに感謝したいものです。体調が優れずに休んでいるお子さんも見られます。早く体調が回復し登校してくるのを待っています。

年の始めに 感心させられたこと



～ 今年もよろしくお願いします ～

「今年もよろしくお願いします」という言葉は、年の初めによく聞かれる言葉です。大人社会では当たり前のように思えますが、子どもたちはこの言葉を、いつ覚えて、いつ頃から使い始めるのでしょうか。友達同士で「今年もよろしくね。」とさりげなく、自然に言えていればよいのですが、なかなかそのような言葉を耳にしません。御家庭で、家族間であつても口にしていると、自然に覚え口にできるようになるのかもしれませんが。

校長は登校する子どもたちを、校庭の正門側の横断歩道で待つようにしています。子どもたちが通り過ぎると、スクールバスが到着する本校玄関前に場所を移し、子どもたちを迎えます。1月9日の3学期初日の朝も同じようにして子どもたちを迎えていた時です。6年生の男子児童が、今までと同じように「おはようございます。」と言ったあと、その場に立ち止まり「今年もよろしくお願いします。」とあいさつしてくれました。思わず私からも、「よろしくお願いします。」と同じ言葉を返しました。必要とされる社会性の一面をしっかりと身に付け、自分のものとしていることに感心させられると同時に、うれしく思いました。

書き初め展に出品しました

希望の朝	早春の光	白い大地	たっ年	メダル	こけし	もちつきべたん
6年	5年	4年	3年	2年	1年	1年
						大きな雪だるま
						2年